



# オムツ無し手ぶらでお出かけ事業を推進!

## ～在宅子育て家庭の孤立防止・負担軽減も～

港区立子ども家庭支援センターなど、41の子育て関連の区有施設において8月から「おむつが無くても大丈夫!手ぶらでお出かけ事業」が本格実施に!

紙おむつが無料で利用でき、使用済おむつも持ち帰りが不要なので、子育て中のママさんからは喜びの声が。

私は、2022年11月定例会で、特に、在宅子育て家庭の負担軽減や孤立防止の必要性を訴え、推進。

在宅子育て家庭のなかには、どこにも相談できず、深刻な児童虐待に陥るケースもあることから、外出が気軽にでき屋内で遊ばせることができれば、精神的に楽になりますし、気軽に施設職員にも相談できて、大変良い取組と!



### 第2回 定例会

## 丸山たかのり 港区議会質問より



質問

**医療的ケア児**の家庭が孤立しないよう、医療的ケア児等コーディネーターを、医療的ケア児の退院前からアドバイザーとして伴走させ、相談支援充実や課題解決などに活用を。

答弁

退院から在宅生活まで寄り添った相談支援体制など検討する。



質問

**カスタマーハラスメント**の対策を事業者任せにするのではなく、カスタムは許されないといった社会的合意形成に向けた、消費者教育を区としても実施すべき。

答弁

区立消費者センターでの、区民向け消費者講座などで促す。



質問

区立**中学校の海外修学旅行**について期待や信頼を保護するためにも、少なくとも、在校生については、事業を継続すべき。

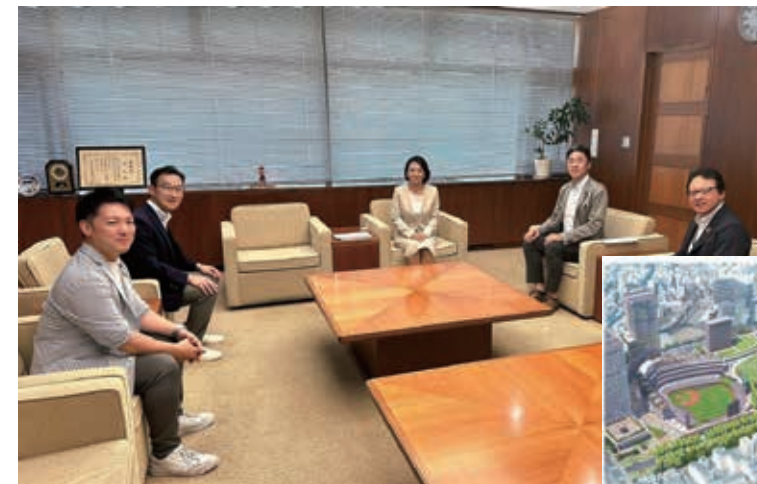
答弁

来年度以降の実施は、中学1,2年生の期待も踏まえて検討する。



### 総務委員会 副委員長に

7月26日委員会の異動があり、総務常任委員会の副委員長を拝命。港区の諸課題に迅速に対応するための補正予算や、最近では資材等の高騰や働き方改革で入札の不調が続く公契約など、審議に全力で!



再開発の完成イメージ

## 清家愛・新区長と政策懇談

### 神宮外苑再開発など選挙公約について要望

7月4日、前月に港区長選で当選された清家愛区長と港区議会公明党とで懇談し、区長選後、区民の方々から出された疑問など率直に伺い。

区長が、2019年の港区議会議員選挙で公約とされた、神宮外苑再開発の計画の見直しについても触れ。

この再開発自体は、民間事業者による私有地のことですので、政治争点化するべきものではなく、近隣住民の不安払しょくは当然必要ですが、これまでの港区の立場を継承すべきことを、強く要望。

## 新型コロナワクチン無償化! 小池都知事に治療費等負担軽減を

都議会公明党は、7月23日小池ゆり子都知事に対して、物価高騰・経済対策、熱中症・新型コロナ対策等の緊急要望を。

そのなかで、新型コロナの感染拡大を踏まえ、治療薬やワクチンの、自己負担軽減策も。

重症化を防ぐコロナ治療薬は、15,000円から30,000円と高額のため、服用控えや処方控えが起きており。



## 武井雅昭港区長が任期最終日ご挨拶に

6月27日、武井雅昭港区長が、任期最終日にあたり港区議会公明党にもご挨拶に。

区民の方々への支援が不十分なこともあったかもしれない、と最後まで気遣いをなされる区長に感涙。



## 新・副区長の大澤鉄也さんに期待大

8月、注目の新たな副区長には、保健福祉支援部長を務められた、大澤鉄也さんが選任され。

私が独自に行なった庁内調査の結果を、当時、区長室長であった大澤さんに、提出したこともあり、今後も、大澤さんの実直な人柄や仕事ぶりに、大いに期待を。



また、10月から65歳以上高齢者等は定期接種となる、新型コロナワクチン接種は、自己負担額が7,000円も、

港区は無料接種とする補正予算案が、港区議会定例会に提出され、7月26日に可決成立。

3月港区議会予算委で、災害時に避難所等での新型コロナまん延防止などを目的に無料接種を訴え、実現!





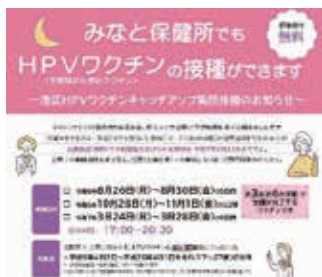
## 港区議会公明党が提案・推進の共通実績多数!

### HPVワクチンの無料の夜間集団接種を実施

子宮頸がんを予防するHPVワクチンは、対象者に公費での無料定期接種でしたが、副反応の懸念から接種勧奨を控えた時期に接種を逃した人が多く、救済のための全額公費による「キャッチアップ接種」が行われています。

しかし、2025年3月末までが期限であるにもかかわらず、まだ接種未完了で夜間にしか接種を受けることができないなどの方に予防接種を受ける機会を提供し、ワクチンの接種率向上を図るため、保健所内での集団接種が実施されることに。

港区議会公明党は2023年9月定例会で、キャッチアップ接種の期限内に3回の接種を終えることができるよう、集中的なHPVワクチンの接種拡充を求め実現!



### 全国初! EV起震車「みなとゆらゆら号Ⅲ」導入

港区では従前の起震車が導入から20年経過したため環境に配慮した完全電動化、電気駆動の起震車「みなとゆらゆら号Ⅲ」を全国初で導入。

地域の防災訓練などで実災害に近い地震の揺れを疑似体験することで、区民の防災意識と災害に対する知識の向上を図ります。

港区議会公明党は、2019年2月予算委員会で、災害時における電動車からの電気供給は大変有用、と給電車導入を強く推進しました!



### 青少年対策地区委員会の予算配分是正と予算増額

地域の子どもたちの健全育成をサポートするために結成された「青少年対策地区委員会」は港区に10地区あり、区は活動予算の一部を補助しています。

従前の予算の按分方法では、青少年人口あたりの予算額に大きな地域差が生じていたため、2023年第2回定例会などで、按分方法の是正と物価高騰に伴う予算増額訴え、2024年度予算より按分方法が是正され、増額も実現!



### 23区初! ヤングケアラー支援ガイドライン作成

港区は、家事や家族の世話、介護をおこなっている子ども「ヤングケアラー」の実態調査の結果を踏まえ、早期の発見と理解促進を図るため、令和6年3月に学校、病院や警察などの地域の関係機関と協働し、23区初となる区独自のガイドラインを作成。

港区議会公明党は2021年度予算委員会などで、ヤングケアラーの早期発見のための現場の教員の啓発など訴えたり、支援拡充のための予算要望を行うなど推進!



## 病児保育室の拡充と新規開設が実現!



病気により保育園での集団保育が困難な乳幼児を一時的に預かる病児保育室について、港区議会公明党は、昨年11月港区長への2024年度予算要望などで拡充を継続的に訴え!

その結果、2024年1月〜「チャイルドケアばんびい」病児保育室では定員が6名から8名に拡大し、9月からは土曜日も開設に。

2025年1月には、麻布十番に新たな病児保育室が開設されることに。また私は2023年9月決算委員会などで、保育園で急な発熱等の際、保護者に代わり看護師がタクシーで病児保育室に連れて行く送迎サービスなど要望しており、これからも病児保育の更なる拡充に全力で!



## 高齢者のヒアリングフレイル対策を推進!



8月中石真一路先生をお招きし、ヒアリングフレイルについて港区議会公明党として学習。中石先生は、3年の研究の末、世界初の耳につけない対話支援システム「コミュニケーション」を発明。

ヒアリングフレイルという概念も提唱され、聞き取る機能の衰えによって、コミュニケーションの問題やQOLの低下につながり、ひいては認知症のリスクが高まることが、日本臨床耳鼻咽喉科医会で紹介されるまでに。

難聴にもかかわらず、聞こえるふりがうまくなくなってしまった高齢者が認知症と誤診されてしまう事例が多く、コミュニケーションによって劇的に認知症検査の結果が改善した、とする研究結果もあり、7月定例会で私は、高齢者に関わる従事者や介護する家族へのヒアリングフレイルの啓発を訴え!



## 芝浦・海岸の夏祭りをお手伝いで橋渡し!



7月26日、27日と「芝浦まつり」が開催され、両日、芝浦アイランド自治会有志による焼きそばのお手伝いで、熱々の鉄板で汗だくになりながら。

翌週の8月2日、3日は、「海岸まつり」が開催され、多くの子どもたちが家族などと楽しんでいましたが、私は唐揚げ&ポテト担当で、連日汗だくに。

さらに、4日は御田八幡神社「大祭」最終日の夏まつりに、芝浦3・4丁目町会青年部員として射的のお手伝いをし、これで怒涛の夏祭りは一段落でしたが、楽しくやらせていただきました~。

その間、区民の方々からご要望もいくつもいただいたので、しっかり行政と地域の橋渡しの役割を果たしてまいります!

